記入年月日 平成29年度 事務事業評価表 A (平成28年度 の実績評価) 平成 月 14 事業区分 事務事業名 安全運転管理事業 新規/継続 継続 事務事業No. 010203000052 政策体系上の位置付け 単独/補助 母神 020201 所属課 総合計画の施策名 0102 市民サービスの向上 主要事業 机象位 財政課 01 市民と行政による豊かな地域の自治づくり 市長マニフェスト 対象外 政策名 未来PJ事業 管財契約G 市民サービスの向上 対象外 グループ 03 職員の資質向上及び人材育成 系 基本事業名 合併建設計画事業 机象位 財務会計上の位置付け 事業期間 会計 款 頂 事業 一般会計 単年度繰返し (平成17 年度~) 予質科日 01 02 01 07 02 00 庁舎維持管理事業 □⇒ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入 法令根拠 事務事業の現状把握(その1) (D_0) (1)事務事業の概要 ①事務事業の概要(事務事業の全体像) ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 【事務事業の内容】 講習会等への参加により安全運転を職員に周知する。 安全運転管理者を選任し、職員の安全運転の向上に努め事故予防を図る。 【担当者が行う業務の手順】 講習会等への参加により安全運転を職員に周知する。 手 段 【事業費の内訳】 安全運転協議会負担金 (2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、 指標値の推移 27年度 29年度 30年度 28年度 21年度 ①手段 (担当者の活動内容) (活動量を表す指標) 単位 4)活動指標 (実績) (実績) (計画) (目標) (目標) 講習会回数 1.00 1 00 1.00 1.00 1.00 安全運転管理者を選任し、講習会等の参加 により職員の安全運転を向上に努め職員に 0,00 0.00 0.00 0.00 0,00 周知する 桜川地区安全運転管理者協議会負担金の 0.000.000.000.000.00納入事務 ・桜川市交通安全大会の参加 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 29年度 30年度 31年度 27年度 28年度 ②対象 (誰、何を対象にしているのか) 単位 ⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標) (実績) (実績) (計画) (目標) (目標) 職員数 人 381.00 378.00 379.00 378.00 378.00 安全運転管理者及び職員 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.000.000.000.000.0027年度 31年度 28年度 29年度 30年度 (この事業によって対象をどう変え (対象における意図の達成度 ③意図 ⑥成果指標 単位 るのか) を表す指標) (実績) (実績) (計画) (目標) (目標) **講習会参加人数** A 900 900 900 900 900 事故を防止する 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度 期間限定 (3)投入量(事業費)の推移 (実績) (計画) (目標) (目標) 総投入量 国庫支出金 O 千円 \cap \cap \cap 0 \bigcirc 県支出金 千円 $\overline{\bigcirc}$ $\overline{}$ \cap $\overline{}$ \cap 事 千円 \cap \cap \cap \cap \cap O 投 源 地方債 使用料・手数料 千円 0 O 0 0 訳 その他 千円 O O 0 O O 千円 0 -般財源 113 113 113 113 113 事業費計(A) 千円 113 113 113 113 113 \cap 2.00人 2.00人 正規職員従事人数 2.00) 2.00人 2,001 量 件 述べ業務時間 問部 60,00 60,00 60,00 60,00 60,00 人件費計(B) 千円 174 174 174 174 177 タルコスト(A)+(B) 287 千円 287 287 290 287 29年度事業費 予算(千円) 28年度事業費 実績(千円) 19 負担金補助及び交付金 19 負担金補助及び交付金 σ 内 訴 113 113 (4) 当該年度の実施内容 29年度の事業内容 30年度の事業内容 31年度の事業内容 ※下記に該当する事業は、年 度ごとに事業内容を記入する 主要事業 • 市長マニフェスト · 未来PJ事業 • 合併建設計画事業

事務事業名 安全運転管理事業	事務事業No.	10203000052	所属課	財政課
【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2) 【(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたの	か? 開始時期ある	いは5年前と比べてどう	変わったのか?	
道路交通法の定めにより、一定の車両を管理しているため				
【 (6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)	からどんな音目から	更望が寄せらわているか(2	
特になし	73 9 C 7 0 0 0 1 1 3	文主の 切 こ ライ (C () の ()	•	
(7)前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容				
(7) 前回の事務事業評価に対する以中・以告の具体的内容				
現状維持				
【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。				
①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)				
話びついている 職員が安全運転に関する情報を得ることがで	きることにより、職	員の資質の向上に結び付	いている	
翌 ② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?)(法定受託事業はその名称)				
性				
<u> </u>				
③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)				
回上示地がない 「「明上示地がない 「明見に対し注意喚起を行い事政件数も減少している。				
④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)				
有				
性				
□ 類似事業 □ の が 所に 「 (類似事業 □ が 所に				
⑥事業費・人件費の削除余地(成果を下げずに事業費を削除できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) 対				
単 削減余地がない 負担金の為削減できない				
Y 公正・公平である 受益者負担はない				
【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)	,			
() () () () () () () () () ()	全体総括(振り返り	、反省点) ・触等軽微な事故が多数針	メナーアおり贈旨	3の安全選手政務が必
①目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり 要である		「既守駐阪仏争取り'多数た	土してのり戦を	100女主建于台先75岁
②有効性 ■ 適切 □ 見直し余地あり 🛶				
③効率性 ■ 適切 □ 見直し余地あり □ 4公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり □ 1000				
(2) 今後の事業の方向州				
(3) 今後の事業の方向性 (複数回)	答可)	_		改善による期待成果
\square 終了 \blacksquare 継続 \longrightarrow \square 改革改善を行う \longrightarrow \bigcap \square 目的 σ)再設定 🗆		(終」・廃止	・休止の場合は記入不要)
	±の改善 □ 含ができる □			コスト 削減 維持 増加
			向上	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策			成維	
			果持	
			低下	
			(0)	
				業優先度評価結果
			成果優先度評	価結果 8
			コスト削減優勢	先度評価結果 ⑥
【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項		- (-m		
(1) 課長評価 (2)	部長確認及び評価	西 (課長評価により、(C、D判定及び配	(
	忍欄			
A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出				